

福島第一原子力発電所における緊急作業に従事した作業者の
線量評価状況について
20mSv 超過者の精密測定

福島第一原子力発電所の緊急作業に従事した作業者の被ばく線量については、測定・評価を継続して実施中です。

20mSv を超える作業者については JAEA において精密測定を実施しています。

7月13日には、WBC測定を実施した作業者の作業線量について報告を行い、内部被ばく線量の評価値が100mSvを超える作業者について報告致しましたが、今回は、内部被ばく線量の評価値が50mSvを超え100mSv以下の作業者(表1)の線量評価の確定作業状況について報告するものです。

表1 (7/13 厚生労働省報告)

緊急作業に従事実績のある作業者のうち、7/13 までにWBC測定を実施した作業者の内部被ばく線量の分布。
(抜粋)

区分(mSv)	3月			4月			備考
	社員	協力企業	計	社員	協力企業	計	
50 超え ~ 100 以下	51	37	88	2	4	6	今回の評価範囲

報告事項

内部被ばく線量が50mSvを超え100mSv以下の作業者について、JAEAにおける精密測定等の再評価を行った結果、前回報告(7月13日)の94名(社員88名、協力企業6名)から、64名(社員38名、協力企業26名)となりました。(表2)

(前回報告の94名は、6月20日、6月30日報告時点で157名であったものが、JAEAの精密測定等により減少したものです。)

表2 50mSvを超え100mSv以下の作業者に対する当社の評価結果

区分(mSv)	3月			4月		
	社員	協力企業	計	社員	協力企業	計
50 超え ~ 100 以下	38	26	64	0	0	0
20 超え ~ 50 以下	11	7	18	0	1	1
10 超え ~ 20 以下	0	1	1	0	1	1
10 以下	1	5	6	0	1	1
計	50(*1)	39 (*3*4)	89	0(*2)	3(*4)	3

*1 名簿の重複登録が判明したため、7/13 報告値から1名減。

*2 同上 7/13 報告値から2名減。

*3 摂取日見直しにより50~100mSvの評価値となったため1名増。

*4 行動調査により3月入域者と判明(4月:1名減、3月:1名増)